

# 平成 28 年度「佐久市内医療提供体制」 に関するアンケート調査報告書

(平成 28 年 10 月 4 日～10 月 24 日調査)

佐 久 市

## I 調査の設計

### 1 今回調査の目的

佐久医療センターは、紹介型の病院として昨年「地域医療支援病院」の認定を得た。一方、佐久医療センターがその機能を十分に果たすためには、「医療機関の役割分担と連携」や「患者である地域住民の理解と協力」が不可欠である。

こうした中で、平成24年6月に実施した「佐久市医療体制等連絡懇話会」において、「佐久医療センターの役割や医療供給体制については住民の理解を得ることが必要である。」との見解が示されたことから、平成24年度と平成25年度及び平成27年度にアンケート調査を3回実施しており、この結果を基に、それぞれ懇話会を構成する機関での広報活動や、市においては「まちづくり講座」の開催や広報誌等を通じた医療供給体制の市民への周知を図ってきた。

また、佐久医療センターが開院して2年余を経過した中で、市内の医療提供体制について、住民の理解度をアンケート調査することにより、直近の市民意識を調査、集計し、今後の広報活動や地域医療体制を構築するためのデータとして活用していくことを目的とする。

### 2 今回アンケート調査の設計

- 調査対象 市内に住所を有する満年齢18歳以上85歳未満の男女1,000人。  
住民基本台帳から無作為抽出。（外国人を除く）
- 調査方法 郵送配布・回収
- 調査期間 平成28年10月4日～平成28年10月24日
- 調査の視点
  - ①医師不足等、医療を取り巻く情勢への意識
  - ②医療機関の役割分担への理解
  - ③かかりつけ医との係わり方
  - ④医療機関情報の取得方法や急患時の対応
  - ⑤佐久総合病院再構築医療体制への理解
  - ⑥その他意見等（佐久医療センター、佐久総合病院本院、佐久市医療体制）○医療情勢に関する認識について
- 有効回答 432人（回答率 43.2%）

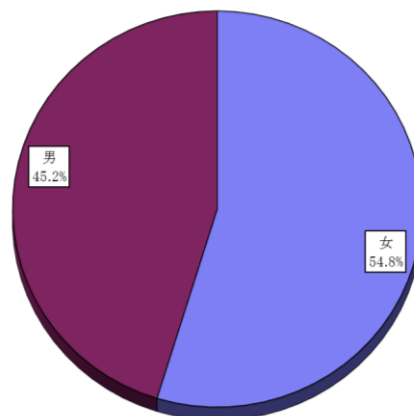
<注> 報告書のパーセント数字は小数点第2位を四捨五入。合計が100にならない場合があります。  
無回答数は、入れないで計算しています。

# 「佐久市内医療提供体制」に関するアンケート調査」集計表

## 《 基本属性 》

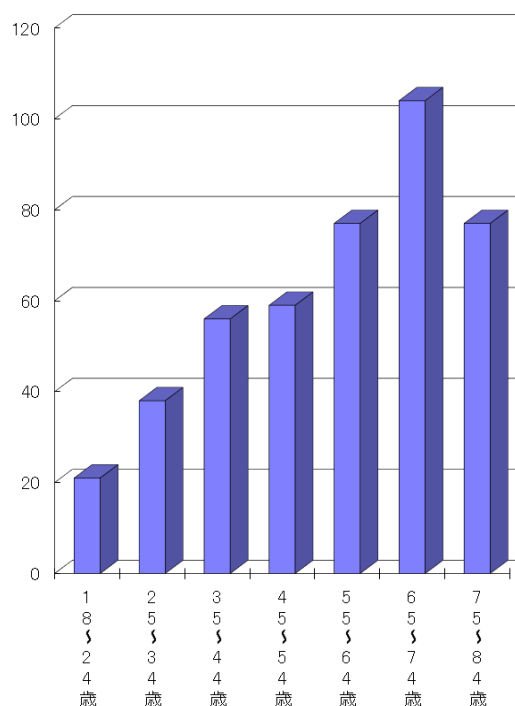
Q-1 あなたの性別をお答えください。  
(○は1つだけ)

選択項目	人数	構成比
女	230	54.8%
男	190	45.2%
無回答	12	-
合計	432	100.0%



Q-2 あなたの年齢をお答えください。  
(○は1つだけ)

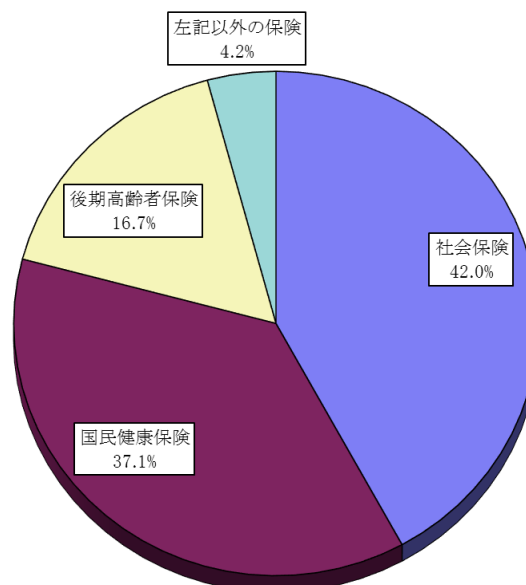
選択項目	人数	構成比	回答率
18～24歳	21	4.9%	26.3%
25～34歳	38	8.8%	29.2%
35～44歳	56	13.0%	32.9%
45～54歳	59	13.7%	36.9%
55～64歳	77	17.8%	45.3%
65～74歳	104	24.1%	61.2%
75～84歳	77	17.8%	64.2%
無回答	0	0.0%	-
計	432	100.0%	43.2%



65歳～84歳では、6割の方に回答いただいた一方、若年層程低い傾向にあり、34歳以下では、3割を下回るなど、全体で43.2%の回答率となりました。

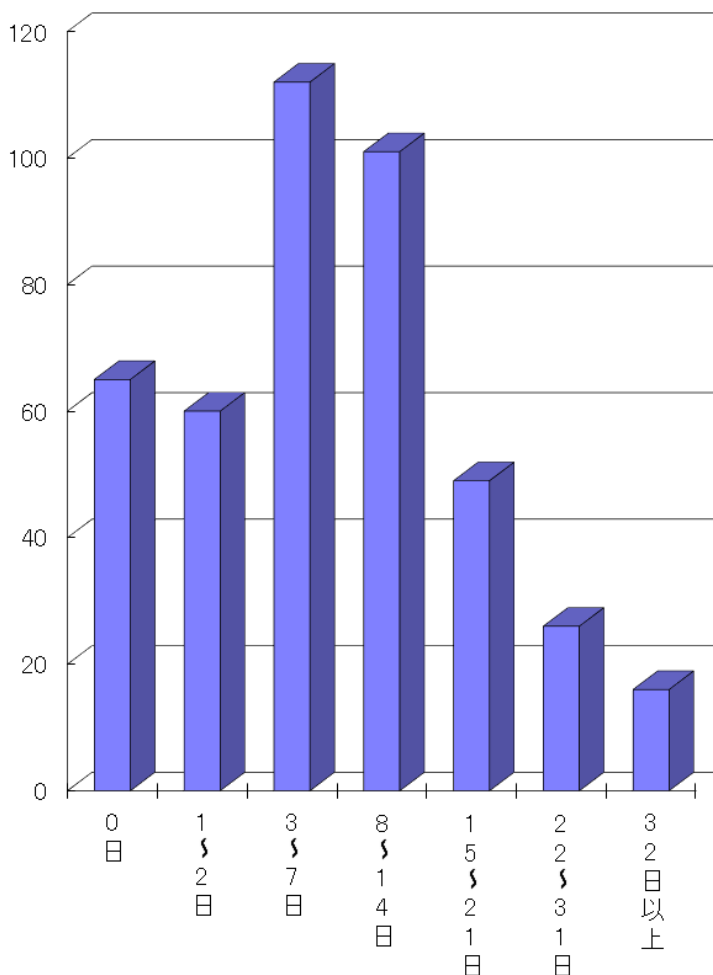
Q-3 現在あなたが加入している健康保険の種類をお答えください。(○は1つだけ)

選択項目	人数	構成比
社会保険	179	42.0%
国民健康保険	158	37.1%
後期高齢者保険	71	16.7%
上記以外の保険	18	4.2%
無回答	6	-
計	432	100.0%



Q-4 あなたは、この1年間に医療機関(歯科除く)を約何日間、受診や入院されましたか。(〇は1つだけ)※インフルエンザの予防接種や健康診断などは除きます。

選択項目	人数	構成比
0日	65	15.2%
1～2日	60	14.0%
3～7日	112	26.1%
8～14日	101	23.5%
15～21日	49	11.4%
22～31日	26	6.1%
32日以上	16	3.7%
無回答	3	-
合計	432	100.0%



2か月に1回～2回程度医療機関を受診される方が市民の半数と多く、無受診を含む年に2日以内の方も3割程いる一方、22日を超える方も1割いる結果となりました。

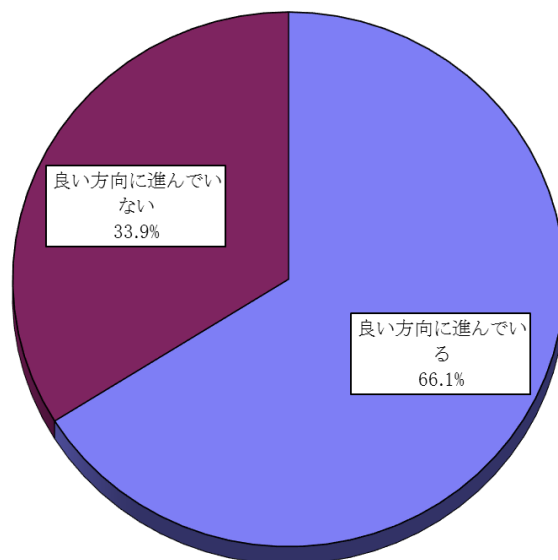
## 《 医療情勢 》

Q-5 佐久地域の医療環境は、良い方向に進んでいると感じますか。(〇は1つだけ)

選択項目	人数	構成比
良い方向に進んでいる	273	66.1%
良い方向に進んでいない	140	33.9%
無回答	19	-
合計	432	100.0%

前回の調査の質問で「現在の佐久地域の医療状況をどのように感じているか。」の質問に74%の方が、「安定している、やや安定している」と回答されました。

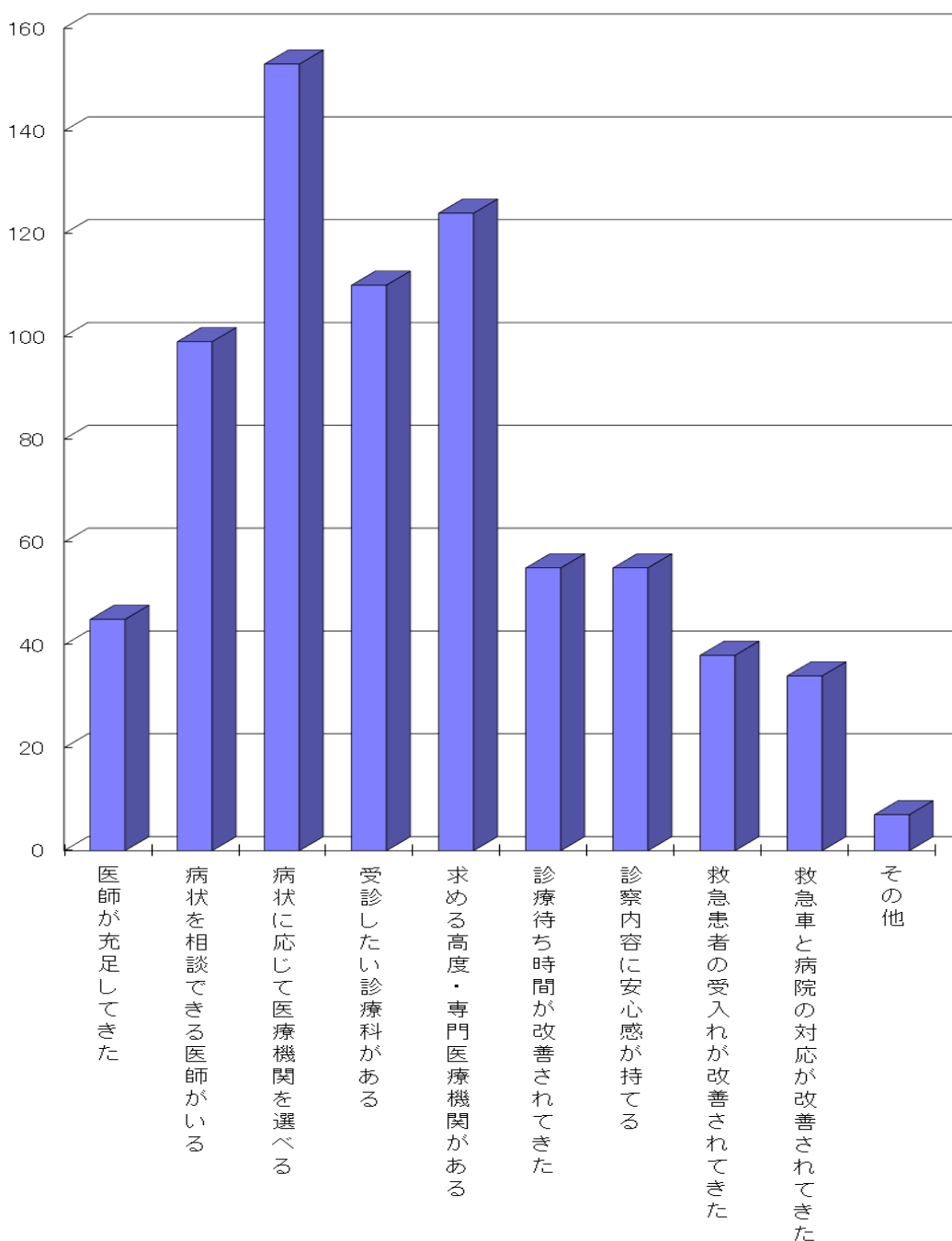
今回は、将来の医療環境の感じ方について質問し、66%の方が良い方向に進んでいると回答されました。



Q-6-1 Q-5で「良い方向に進んでいる」と感じた理由は何ですか。(〇はいくつでも)

選択項目	人数	構成比
医師が充足してきた	45	6.3%
病状を相談できる医師がいる	99	13.8%
病状に応じて医療機関を選べる	153	21.3%
受診したい診療科がある	110	15.3%
求める高度・専門医療機関がある	124	17.2%
診療待ち時間が改善されてきた	55	7.6%
診察内容に安心感が持てる	55	7.6%
救急患者の受入れが改善されてきた	38	5.3%
救急車と病院の対応が改善されてきた	34	4.7%
その他	7	1.0%
無回答	157	-
計	877	100.0%

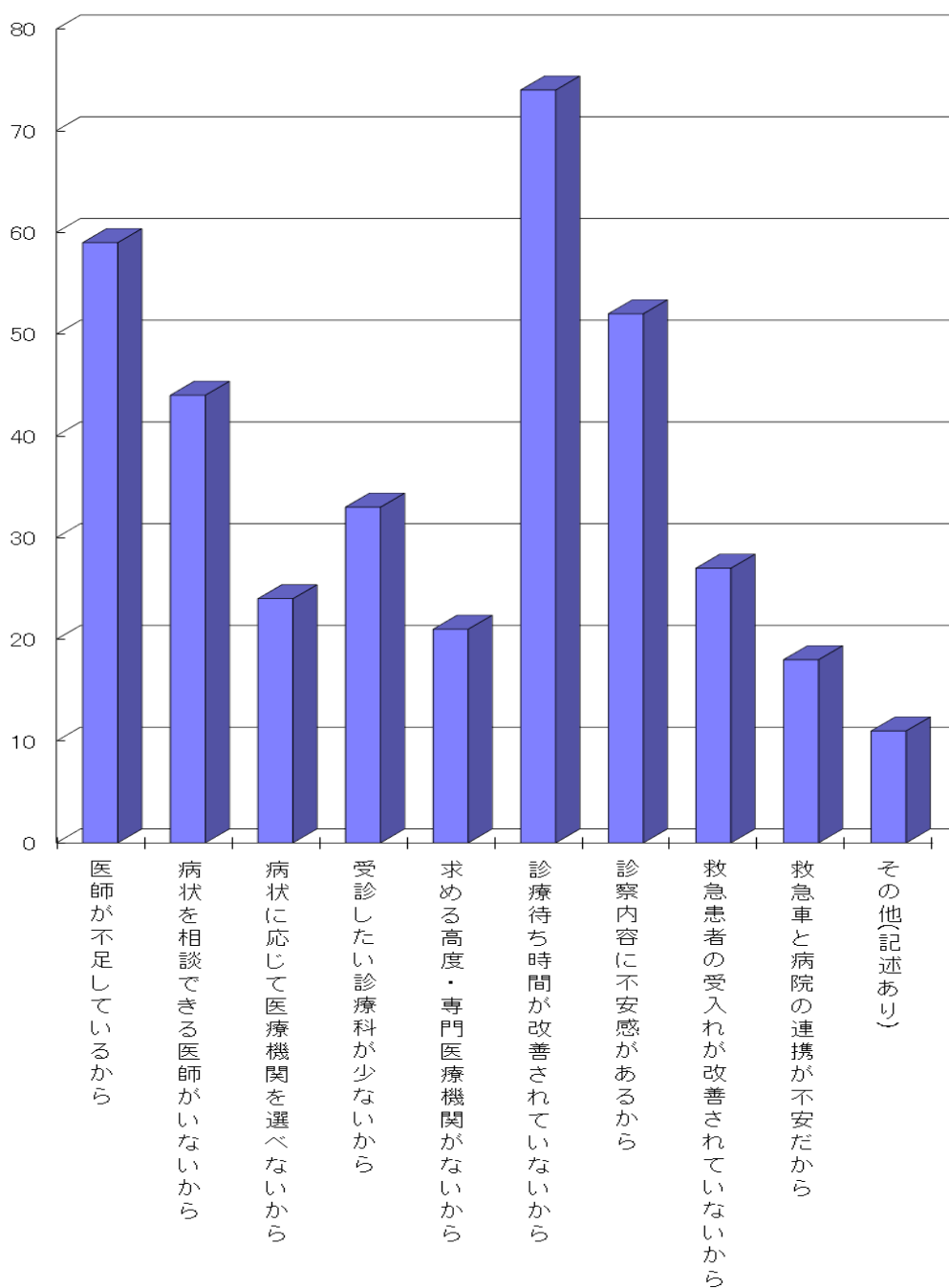
将来の医療環境が「良い方向」に進んでいる理由として、「病状に応じて医療機関を選べる」、次いで「求める高度・専門医療機関がある」、「受診したい診療科がある」と続き、このことは、市の施策でもある「地域完結型医療の構築」のための佐久総合病院再構築による「佐久医療センターの開院」が影響している結果と考えられま



Q-6-2 Q-5で「よい方向に進んでいない」と感じた理由は何ですか。(〇はいくつでも)

選択項目	人数	構成比
医師が不足しているから	59	16.3%
病状を相談できる医師がないから	44	12.1%
病状に応じて医療機関を選べないから	24	6.6%
受診したい診療科が少ないから	33	9.1%
求める高度・専門医療機関がないから	21	5.8%
診療待ち時間が改善されていないから	74	20.4%
診察内容に不安感があるから	52	14.3%
救急患者の受入れが改善されていないから	27	7.4%
救急車と病院の連携が不安だから	18	5.0%
その他(記述あり)	11	3.0%
無回答	296	-
計	659	100.0%

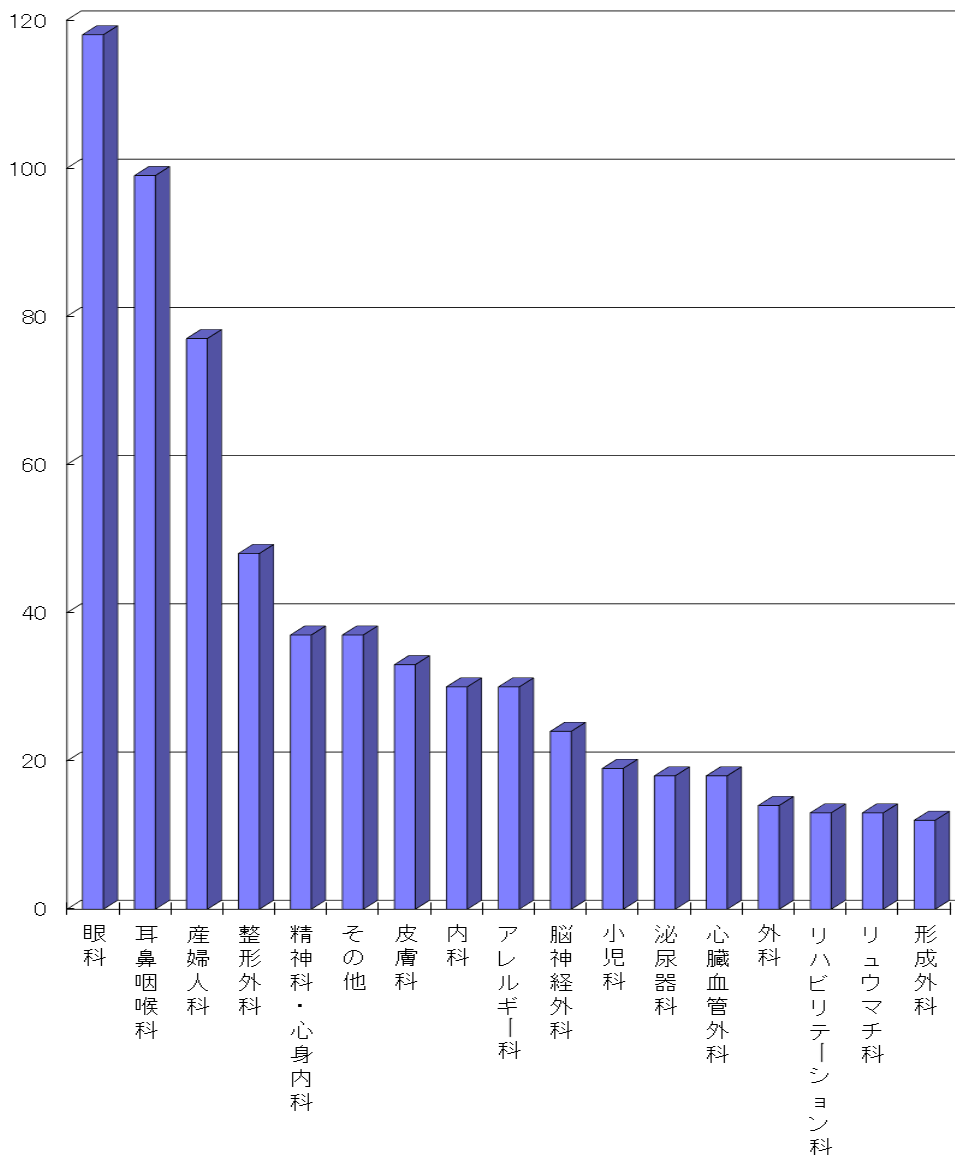
将来の医療環境が「良い方向」に進んでいない理由として、「診療待ち時間が改善されていない」、次いで「医師が不足している」、「診療内容への不安や相談できる医師がない」となり、前回調査の不安理由と同じ項目が上位となる結果となりました。



Q-7 あなたが日頃「少ない」もしくは、「無くて不便」に感じている診療科は何ですか。(〇はいくつでも)

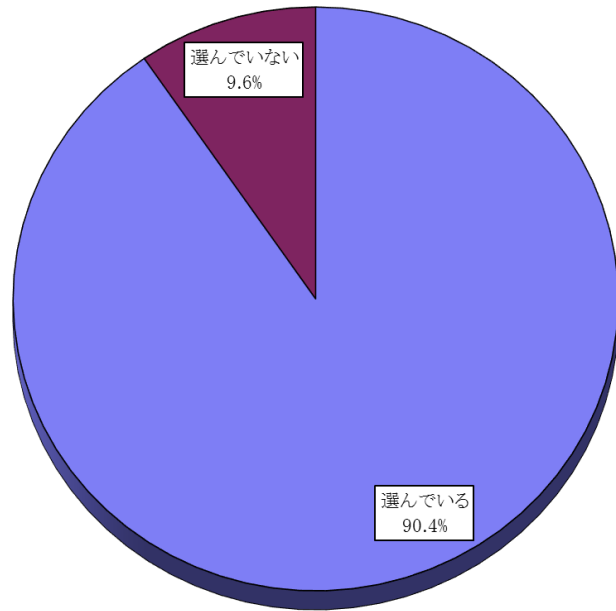
選択項目	人数	構成比
眼科	118	18.4%
耳鼻咽喉科	99	15.5%
産婦人科	77	12.0%
整形外科	48	7.5%
精神科・心身内科	37	5.8%
その他	37	5.8%
皮膚科	33	5.2%
内科	30	4.7%
アレルギー科	30	4.7%
脳神経外科	24	3.8%
小児科	19	3.0%
泌尿器科	18	2.8%
心臓血管外科	18	2.8%
外科	14	2.2%
リハビリテーション科	13	2.0%
リュウマチ科	13	2.0%
形成外科	12	1.9%
無回答	122	-
合計	762	100.0%

全回答者432人の割合に換算すると、眼科は3割の方が、耳鼻咽喉科は2割の方が診療科が不足していると感じています。  
同様に、産婦人科も2割の方が不足しているとしていますが、女性特有の診療科であることから、男女回答率を加味した全対象者数に置き換えると 4割の方が「少ない」、「無くて不便」と感じている診療科となりました。



Q-8 あなたやご家族は、病気やけがの程度により受診する医療機関を選んでいますか。(〇は1つだけ)

選択項目	人数	構成比
選んでいる	377	90.4%
選んでいない	40	9.6%
無回答	15	-
合計	432	100.0%

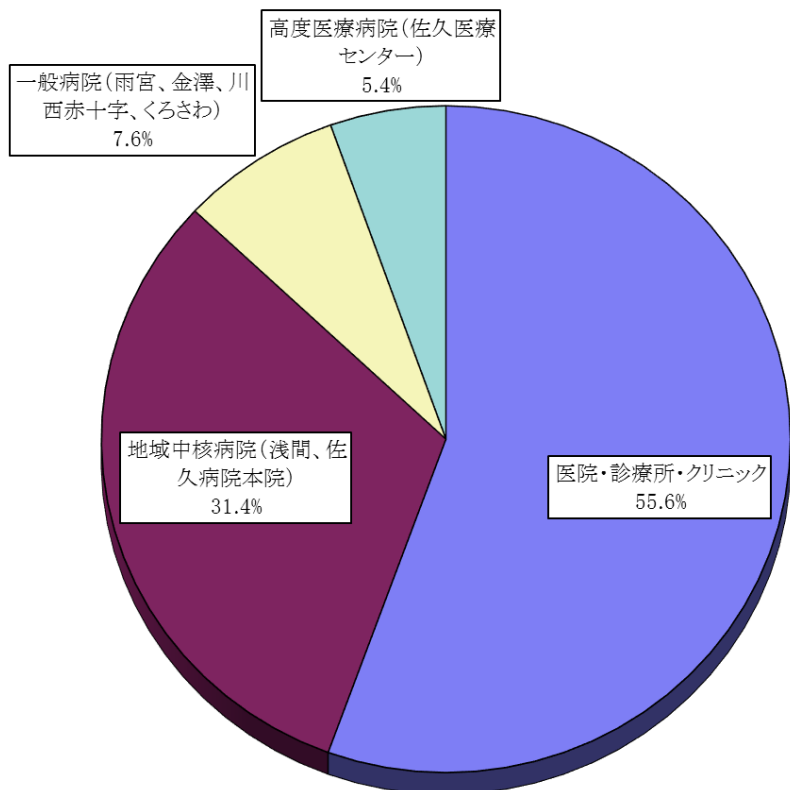


「選んでいる」が、9割を超えており、市民の潜在意識の中には、病気やけへの関心が非常に高いことが伺えます。

このことから、病気やけがの状況に応じて、受診すべき適切な医療機関の情報につて周知していく必要があります。

Q-9 あなたやご家族が最も利用する市内の医療機関はどこですか。(〇は1つだけ)

選択項目	人数	構成比
医院・診療所・クリニック	235	55.6%
地域中核病院（浅間、佐久病院本院）	133	31.4%
一般病院（雨宮、金澤、川西赤十字、くろさわ）	32	7.6%
高度医療病院（佐久医療センター）	23	5.4%
無回答	9	-
計	432	100.0%



かかりつけ医に該当する、医院・診療所・クリニックが55%あり、地域中核病院の浅間総合病院や佐久総合病院本院が31%となります。

今後は、これをかかりつけ医に振り向けて行く必要があります。

なお、佐久医療センターは、約6%の方が最も利用するとされており、この数値の適正について検討していく必要があります。

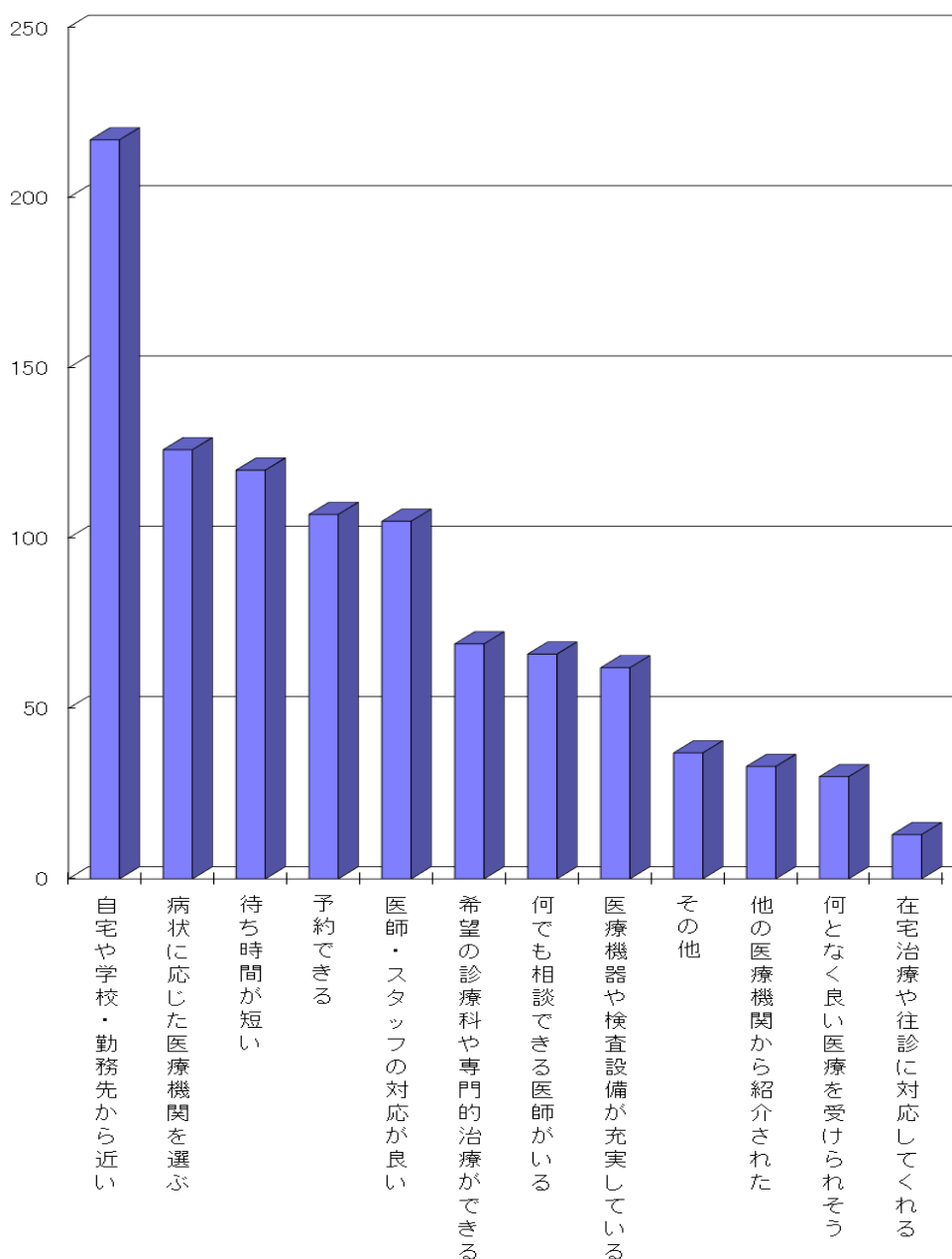


### Q-10 Q-9の医療機関を選んだ理由は何ですか。(〇はいくつでも)

選択項目	人数	構成比
自宅や学校・勤務先から近い	217	22.0%
病状に応じた医療機関を選ぶ	126	12.8%
待ち時間が短い	120	12.2%
予約できる	107	10.9%
医師・スタッフの対応が良い	105	10.7%
希望の診療科や専門的治療ができる	69	7.0%
何でも相談できる医師がいる	66	6.7%
医療機器や検査設備が充実している	62	6.3%
その他	37	3.8%
他の医療機関から紹介された	33	3.4%
何となく良い医療を受けられそう	30	3.0%
在宅治療や往診に対応してくれる	13	1.3%
無回答	13	-
計	998	100.0%

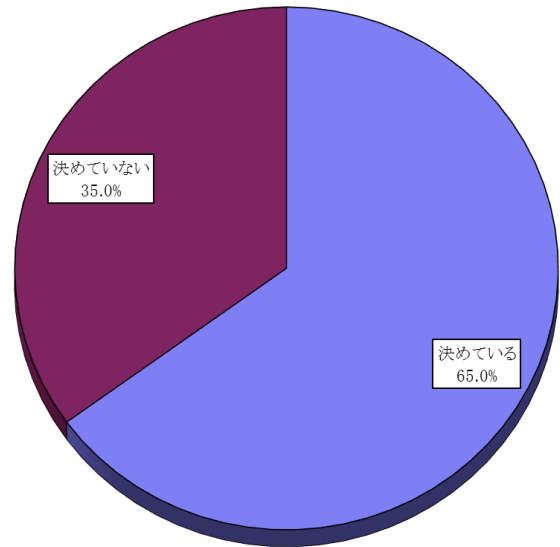
全回答者432人の割合で見ると、「自宅等から近い」が5割、「病状に応じて選ぶ」、「待ち時間が短い」がともに3割の方となり、次いで「予約できる」、「医師等の対応が良い」と続きます。

このことは、かかりつけ医を選んでもらう理由の参考となります。



Q-11 かかりつけ医は、各家庭の日常的な健康管理をしてくれる身近なお医者さんですが、あなたは病気やケガの時に行く、かかりつけ医を決めていますか。(〇は1つだけ)

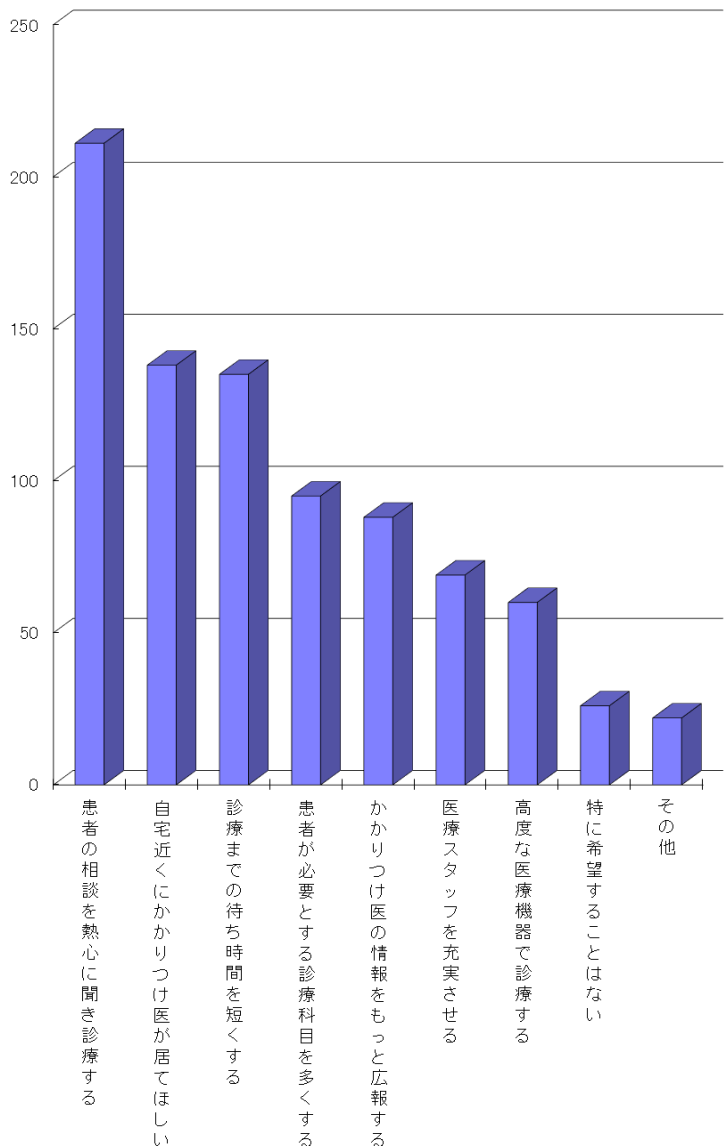
選択項目	人数	構成比
決めている	271	65.0%
決めていない	146	35.0%
無回答	15	-
合計	432	100.0%



今回は、65%の方が「決めている」として、前回の「かかりつけ医がいる」と回答した57%から8%増加しました、これは、市の出前講座などの広報活動により、市民意識が高揚してきた良い結果と言えます。しかし、25歳から45歳までの年齢の約5割が「いない」としており、この年齢層への意識づけが課題となります。

Q-12 かかりつけ医を持つために必要だと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

選択項目	人数	構成比
患者の相談を熱心に聞き診療する	211	25.0%
自宅近くにかかりつけ医が居てほしい	138	16.4%
診療までの待ち時間を短くする	135	16.0%
患者が必要とする診療科目を多くする	95	11.3%
かかりつけ医の情報をもっと広報する	88	10.4%
医療スタッフを充実させる	69	8.2%
高度な医療機器で診療する	60	7.1%
特に希望することはない	26	3.1%
その他	22	2.6%
無回答	22	-
計	866	100.0%

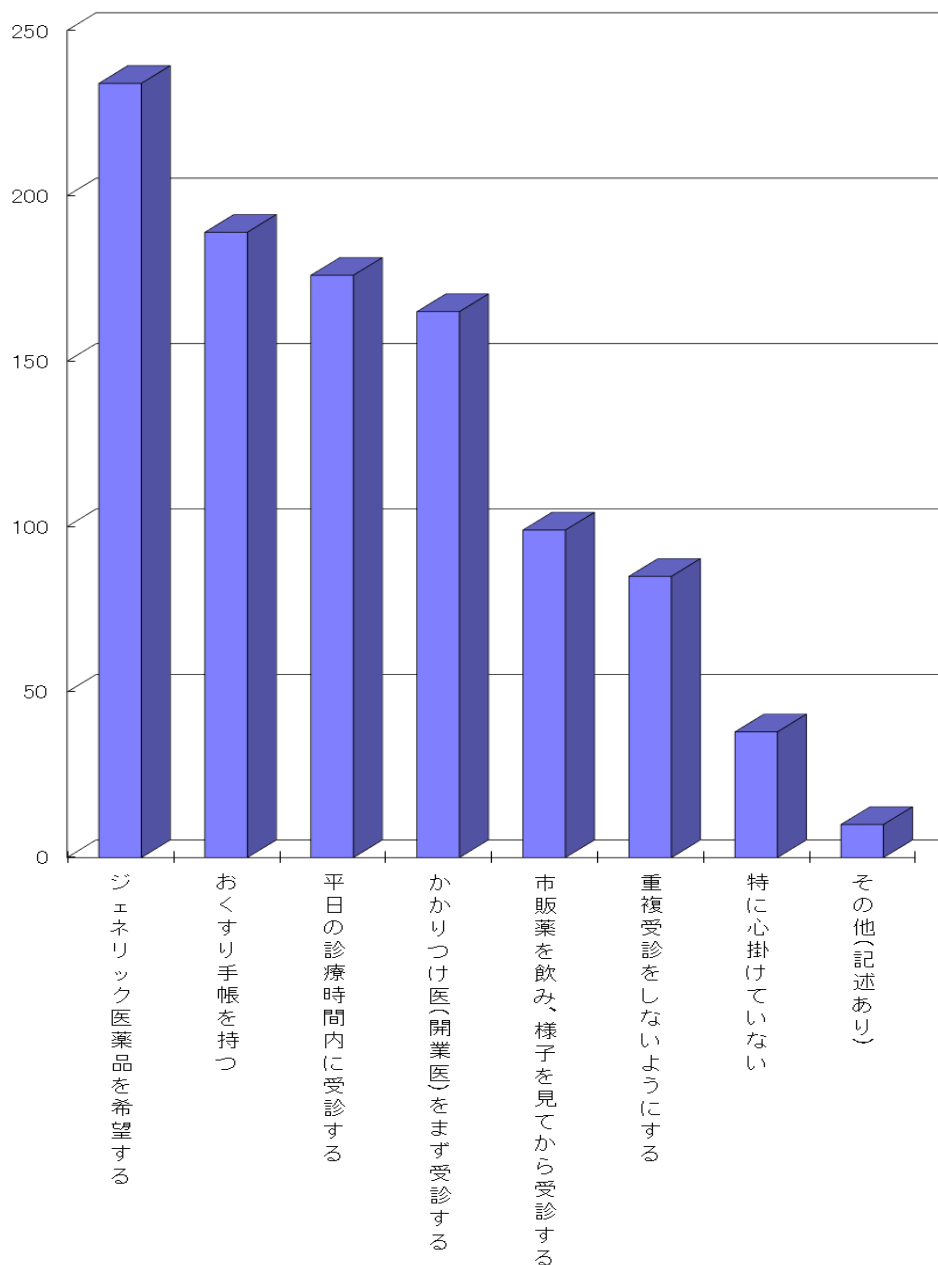


全回答者432人の割合で見ると、「患者の相談を熱心に聞く」が5割、「自宅の近くに」、「待ち時間を短く」がともに3割と、かかりつけ医を選ぶ時に必要と感じていることが伺えます。

Q-13 あなたが医療費を抑えるために心掛けていることは何ですか。(〇はいくつでも)

選択項目	人数	構成比
ジェネリック医薬品を希望する	234	23.5%
おくすり手帳を持つ	189	19.0%
平日の診療時間内に受診する	176	17.7%
かかりつけ医(開業医)をまず受診する	165	16.6%
市販薬を飲み、様子を見てから受診する	99	9.9%
重複受診をしないようにする	85	8.5%
特に心掛けていない	38	3.8%
その他(記述あり)	10	1.0%
無回答	11	-
計	1007	100.0%

全回答者432人の割合で見ると、「ジェネリック医薬品を希望する」が5割、「おくすり手帳を持つ」、「平日受診」及び、「かかりつけ医を受診」がともに4割となり、医療費抑制に対する市民の関心が高まっていることが伺えるため、さらに広報活動を行い周知を図っていく必要があります。

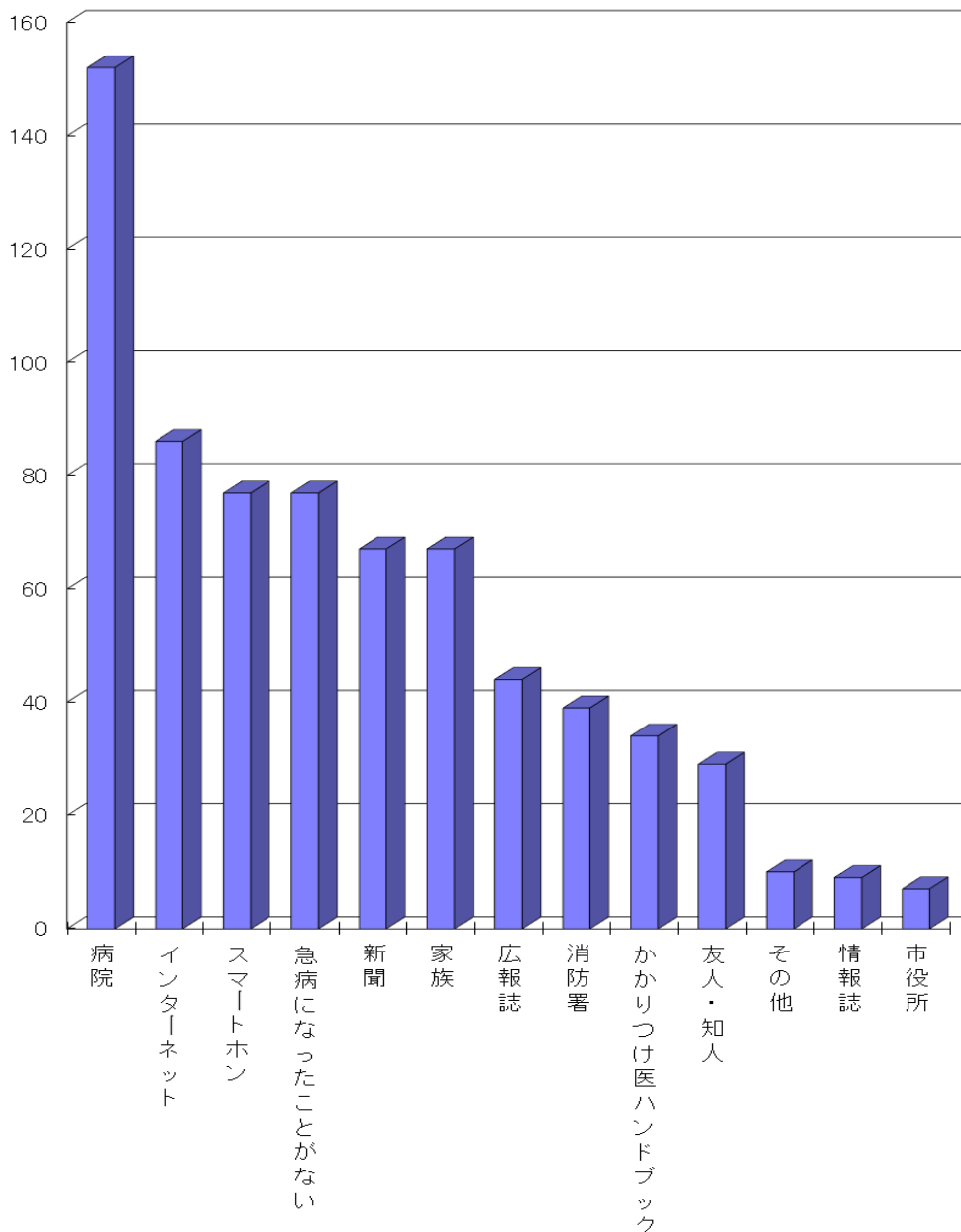


Q-14 あなたや家族などが、夜間や休日の急病になったときに受診可能な医療機関の情報は、どこへ聞いたり調べたりしていますか。(〇はいくつでも)

選択項目	人数	構成比
病院	152	21.8%
インターネット	86	12.3%
スマートホン	77	11.0%
急病になったことがない	77	11.0%
新聞	67	9.6%
家族	67	9.6%
広報誌	44	6.3%
消防署	39	5.6%
かかりつけ医ハンドブック	34	4.9%
友人・知人	29	4.2%
その他	10	1.4%
情報誌	9	1.3%
市役所	7	1.0%
無回答	15	-
合計	713	100.0%

全回答者432人の割合から見ると、「病院に直接問い合わせる」が35%と最も多く次いで「インターネット」、「スマートホン」が「新聞」を上回る結果となりました。

さらに、インターネットとスマートホンについては、25～34歳の64%、35～44歳の46%が情報を取得する手段としており、この傾向を意識した広報活動が必要である一方、65歳以上では、7%の使用に止まることから幅広い年齢層へも配慮した広報活動を継続的に行う必要があります。



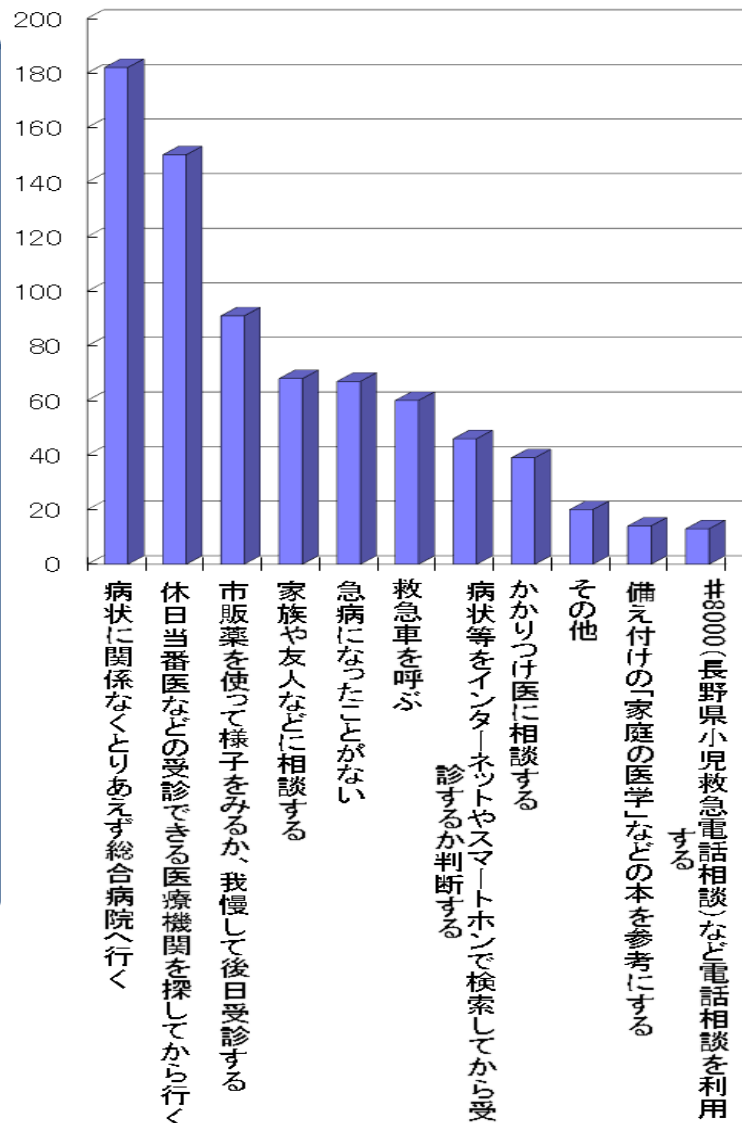
Q-15 夜間や休日などにあなたや家族などが急に発熱や体調不良になり、受診するかどうか迷ったときはどう対応していますか。(〇はいくつでも)

選択項目	人数	構成比
病状に関係なくとりあえず総合病院へ行く	182	24.3%
休日当番医などの受診できる医療機関を探してから行く	150	20.0%
市販薬を使って様子をみるか、我慢して後日受診する	91	12.1%
家族や友人などに相談する	68	9.1%
急病になったことがない	67	8.9%
救急車を呼ぶ	60	8.0%
病状等をインターネットやスマートフォンで検索してから受診するか判断する	46	6.1%
かかりつけ医に相談する	39	5.2%
その他	20	2.7%
備え付けの「家庭の医学」などの本を参考にする	14	1.9%
＃8000（長野県小児救急電話相談）など電話相談を利用する	13	1.7%
無回答	9	-
計	759	100.0%

Q-8の回答で、病気やけがの程度により医療機関を選ぶ市民が9割いる一方で、夜間や休日などの場合は、全回答者432人の割合から見ると、「病状に関係なく総合病院を受診する」方が42%いる結果となりました、これは「今の医療体制に不安を感じている」方が多いことも関係していると思われます。

一方で、「休日当番医などを探してから受診する」と回答された方も35%おり、医療に対する市民の意識が少しずつ高まってきていると思われます。

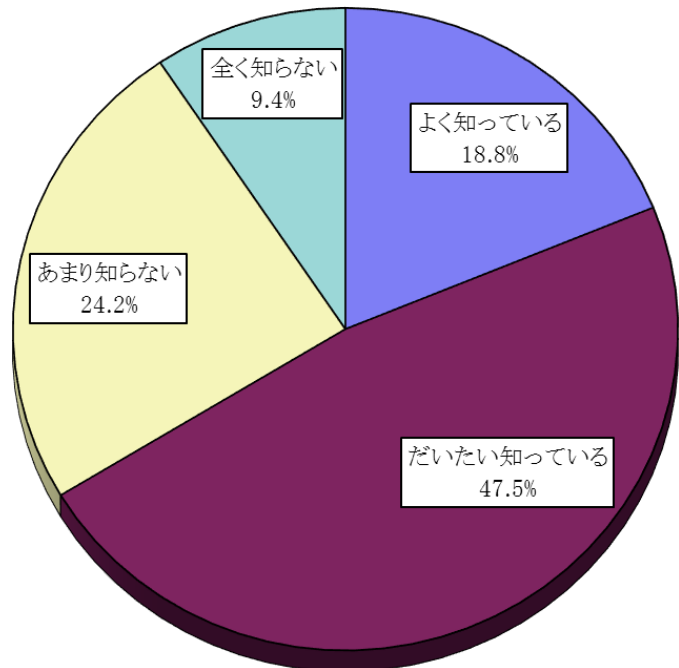
今後は、患者さんの病状を把握する、かかりつけ医などを通じて、各々が自分の病状を把握し、適切な医療受診体制が図られるように努めていく必要があります。



## 佐久総合病院再構築

Q-16 佐久総合病院の再構築により、「佐久医療センター」は佐久広域を中心に東信地域を対象とした「紹介型病院」として、「佐久総合病院本院」は佐久市南部地域を中心とした医療提供体制の充実を目的に再構築がされていることをご存知ですか。(〇は1つだけ)

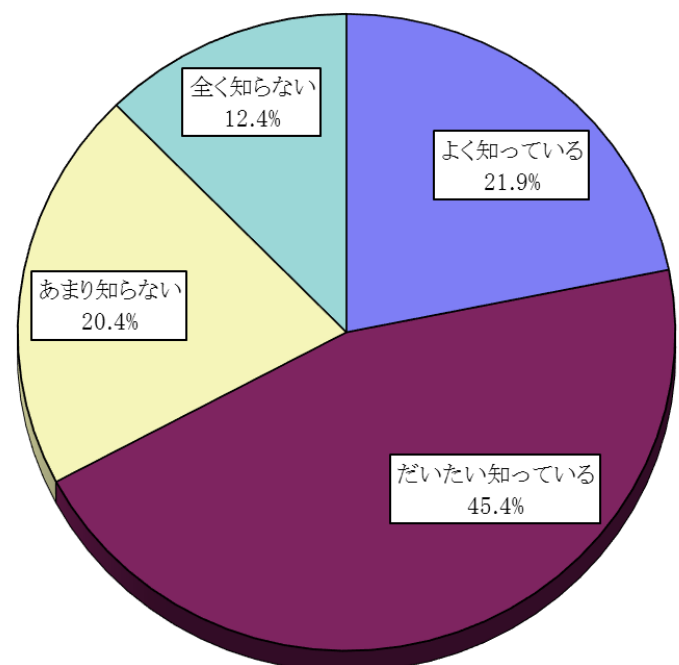
選択項目	人数	構成比
よく知っている	80	18.8%
だいたい知っている	202	47.5%
あまり知らない	103	24.2%
全く知らない	40	9.4%
無回答	7	-
合計	432	100.0%



前回の調査の回答では、佐久医療センターが紹介型の病院であることは、9割の方が「よく」、「だいたい」知っていると回答されました。  
今回はこれに佐久総合病院本院の再構築も含めた質問としたところ66%に留まりました、このことから佐久総合病院本院の再構築についても広く周知して行く必要があります。

Q-17 「佐久医療センター」は、紹介型の病院であるため「紹介状を持たない患者さん」が来院された際には、「病状を見極めた上で、適切な医療機関を紹介される。」ことをご存知ですか。(〇は1つだけ)

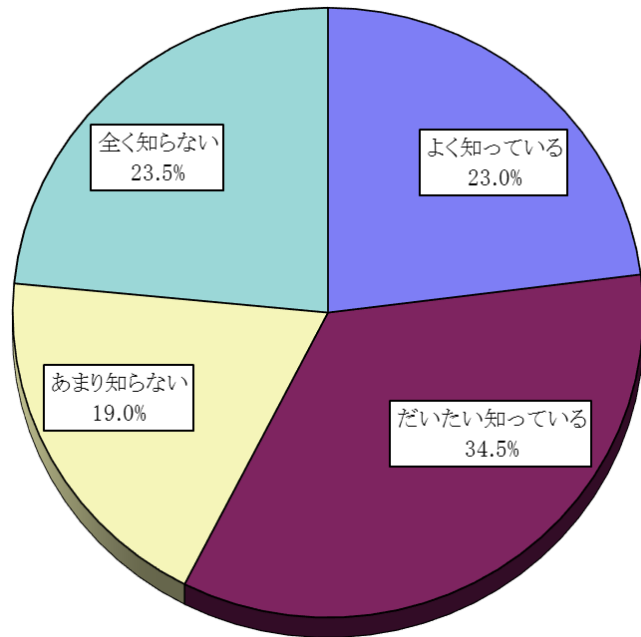
選択項目	人数	構成比
よく知っている	92	21.9%
だいたい知っている	191	45.4%
あまり知らない	86	20.4%
全く知らない	52	12.4%
無回答	11	-
合計	432	100.0%



前回の調査では、「よく知っている」「だいたい知っている」と回答された方が56%でしたが、今回は、67%と11%の増加となりました。  
しかし、若年層の18～24歳では5割、25～34歳で4割を超える方が「あまり知らない」「全く知らない」と回答しており、将来受診する機会が増える若年層に対して今の内から周知を図って行く必要があります。

Q-18 「かかりつけ医」からの紹介状を持たずに佐久医療センターを受診した場合は、「初診時保険外併用診療費」が別途加算されることをご存知ですか。(〇は1つだけ)

選択項目	人数	構成比
よく知っている	98	23.0%
だいたい知っている	147	34.5%
あまり知らない	81	19.0%
全く知らない	100	23.5%
無回答	6	-
合計	432	100.0%

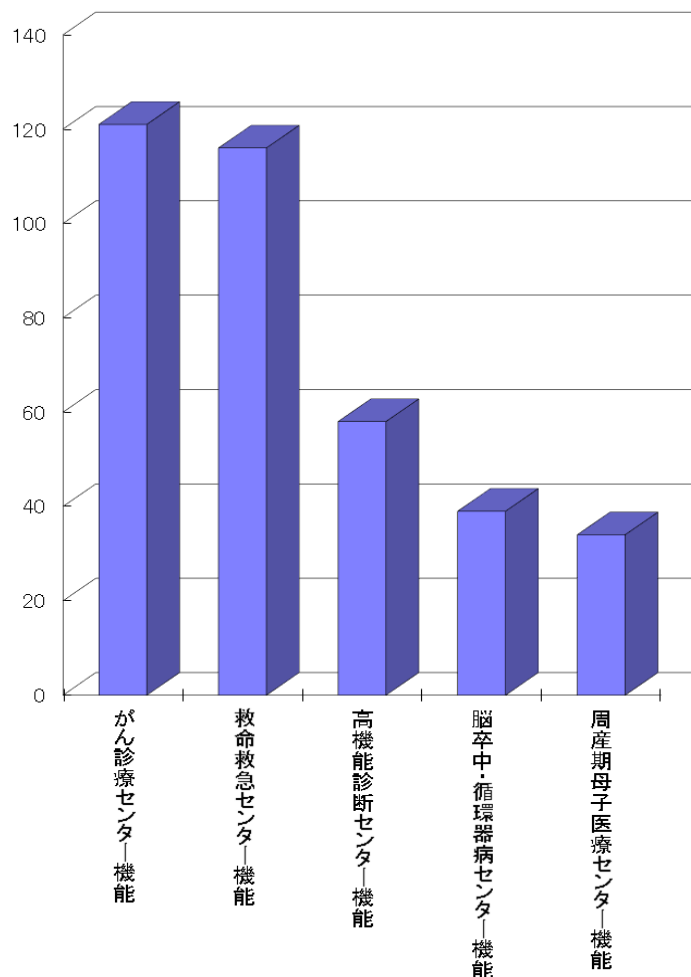


前回の調査では、「よく知っている」「だいたい知っている」と回答された方が合わせて52%でしたが、今回は、58%と6%の微増となりました。

また、「全く知らない」は、前回の29%から24%と5%減ったものの、依然として4人に1人は「初診時保険外併用診療費」を別途加算されることを認識していないため周知する必要があります。

Q-19 「佐久医療センター」は、次の高度医療を有する5つのセンター機能がありますが、より充実させて欲しいセンター機能は何ですか。(〇は1つだけ)

選択項目	人数	構成比
がん診療センター機能	121	32.9%
救命救急センター機能	116	31.5%
高機能診断センター機能	58	15.8%
脳卒中・循環器病センター機能	39	10.6%
周産期母子医療センター機能	34	9.2%
無回答	64	-
合計	432	100.0%



佐久医療センターに求めるセンター機能は、「がん診療」、「救命救急」が多く、これは、Q-7の回答で「少なくて不便と」感じている、眼科や耳鼻咽喉科よりは比較的に、高度、緊急時の医療に特科された医療機能であることへの市民理解が進んだ結果と思われる。

また、突発的に発生する緊急の事故や、生死に直結する病状を処置する高度医療への市民の安心感の表れと思われるため、今後も、市民の要望に耳を傾ける対応が必要となり